

## 2022 年度の事業計画書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ

昨年度は、コロナ禍でどのように外部との関わりを避けるかに関心が向き、思考が内向きになりがちでした。2 月のロシアのウクライナ侵攻により、毎日世界の動向を目にするようになりました。21 世紀においてもこのような悲慘なことが起きてしまう現実、国連や国際法の制御が効かない時代であることを感じます。武力侵攻は対岸の火事ではなく、防衛力強化を説く声も強まっています。

一方で、返還から 50 年となる沖縄の基地がこのままで良いのかという問題も忘れてはなりません。戦争が弱い立場の人、何の罪もない人の暮らしや命を奪う。言論統制が人々の自由を奪う。そのようなことを防ぐためにできることを、市民社会の一員として考えることは、NPO 関係者に留まらず、全ての人に求められていると思います。

私は学生の頃、ノーマライゼーションという言葉に出会いました。北欧から生まれた言葉で、障がいがあっても当たり前の生活ができるように社会を正常化していくという思想です。その土台には人権という概念があり、生産性だけで人の価値を測ってはいけない、人として等しく尊重されるべきという考え方があります。

この 30 年で日本の障がい者福祉は進み、合理的配慮とか人的多様性への配慮という考え方も徐々に広まってきました。その一方で、社会から排除されている人もまだ多くいます。障がいがある子がいることを決して周りに話すなど祖父母が言っているという話は未だに聴きます。何十年も家から出してもらえないのです。

私たちが常総に開いたシェアハウスは、そうした人も含め、新たな人生を歩みだす場を目指して

います。タリバンのような思想に影響され、女性というだけで中学校にも行かせてもらえない外国ルーツの子が茨城にも何十人もいます。そうした子が学べる場もつくろうとしています。

近年関心が高まっているヤングケアラーとは、子が親兄弟の世話をしなければならぬ状況で、これは公的な福祉が届いていないことと、家族がみなければいけないという意識の問題があります。

外国籍の人は在留資格によって仕事が制限されたり、それによって会社から差別を受けています。コモンズの目標は、どんな国にも自由に行き来できる、その人らしく当たり前の暮らしができる、人権が保障され、市民が等しく生きられる、なによりも平和な社会を実現することです。

ウクライナ避難民の受け入れを契機に、ウクライナ以外の海外から逃れてきた人も難民として認められたり、日本で学び、暮らしてきた人が安心して働きやすい状況をつくるには、入管制度を改める必要があります。制度と意識を変えるためには多くの人の理解と協力が不可欠です。そのため共同の場（コモンズ）をつくっていききたいと思います。

私たちは、在留資格のような制度の壁で働きたくても働けなかったり、住む場にも困っている人を支える就労支援や居住福祉、家族に縛られている人が解放され、自分の人生を生きられるよう支援する活動に力を入れます。こうした活動に共感いただける方は、ぜひ寄付や就労機会の提供というかたちでご協力いただければと思います。

誰もが人として尊重され、当たり前の暮らしができる世界を、地域からつくっていきましょう。

認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ  
代表理事 横田 能洋

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>部門名</b>             | セーフティーネットのインキュベーション部門（たすけあいセンター「JUNTOS」）                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>活動方針</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常総市の災害復興支援</li> <li>・ 常総市以外の水害被害支援</li> <li>・ 生活困窮者や高齢者など生活に課題がある人の支援</li> </ul>                                                                                                                                                        |
| <b>事業名</b>             | 常総市の災害復興支援                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 継続                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2015 年の常総市水害から 7 年目となる。被災した日本人が市外に流出し空き家が増え、外国籍住民が増えています。孤立、孤独を防ぎ多文化多世代が交流できる地域づくりを進める必要があります。</li> <li>・ 現在、再建されている「えんがわカフェ」「えんがわハウス」新たに整備した「ぽかぽかホーム」が地域住民の交流拠点となるような工夫が必要。</li> <li>・ 常総市での外国籍住民を含めた避難所開設や避難の訓練、防災訓練が望まれる。</li> </ul> |
| <b>対象</b>              | 常総市民、被災されたことで空き家の活用やコミュニティの再建を求めている方々                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>事業内容</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「えんがわカフェ」「えんがわハウス」「ぽかぽかホーム」が地域住民の交流拠点となるよう、えんがわマルシェの開催、音楽グループや趣味グループへの場所の提供、映画上映会、お料理講習会、駄菓子屋などの開催。また、えんがわハウスの2階でのえんがわ文庫（こども文庫）の運営。</li> <li>・ 地元での地区防災計画に基づく避難所開設訓練や防災訓練の継続的な実施</li> <li>・ もりはしコミュニティ協議会の活動サポート</li> </ul>             |
| <b>会員の皆さんへ</b>         | 被災地や被災者に常総での取り組みを参考に地元での復興に役に立てていただけるような拠点づくりに努めます。ハウスの見学や場を活用した企画も募集しています。                                                                                                                                                                                                      |

|                        |                                                                                                           |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>事業名</b>             | 常総市以外の水害被災地支援                                                                                             |
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 継続                                                                                                        |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | 常総での経験を全国の水害被害地へ発信、また県内外の被災地の地元支援団体との交流を行い今後の水害への備えや被災した後の復興のため現在取り組んでいる空き家改修やコミュニティの再建に役立つ情報を発信していくことが必要 |
| <b>対象</b>              | 全国の災害支援団体<br>被災されたことで空き家の活用やコミュニティの再建を求めている地域や方々                                                          |

|                |                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>事業内容</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県域 NPO センターとして、福祉系 NPO や企業等との災害時連携に関する活動</li> <li>・ 常総水害に関する冊子の送付や報告者の派遣</li> <li>・ 空き家改修、活用に関する他地域との情報交換や相互訪問の実施</li> <li>・ 常総市内の空き家での DIY 改修の実践</li> <li>・ 多言語での防災ガイドと被災した際のガイドの配布</li> </ul> |
| <b>会員の皆さんへ</b> | 常総の水害対応とその後の復興や自主防災の取り組みに関して出前防災講座、出前避難所開設訓練など行っていますので、防災の活動を企画される際はお声かけください。                                                                                                                                                            |

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>事業名</b>             | 生活困窮者や生活に課題がある人の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 一部新規                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | 新型コロナウイルスの感染爆発で、経済、雇用、生活、教育など様々な分野に影響している。特に人との接触機会を減らすことは要配慮者の孤立を深め、仕事や住まいを失うなど困窮者増加を引き起こしている。これら、孤立と失業という問題にどのような対応ができるのかについても検討を行い、できる活動を行っていきます。                                                                                                                                                                                                          |
| <b>対象</b>              | 生活困窮者、自力での移動や生活に課題がある方、引きこもりや虐待をうけている子ども住んでいた方がなくなったり入所するなどして家財整理が必要な世帯                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>事業内容</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助け合い組織であるジュントス移動支援の継続と福祉有償運送への転換</li> <li>・ 常総市より受託した生活支援コーディネーターとしての相談対応と介護予防</li> <li>・ 食を通じた居場所づくりや見守りの活動</li> <li>・ 仕事や住まいを失った生活困窮者に住み込みで働ける場の提供や食や農業を学べる場と作業プログラムをつくる</li> <li>・ 必要に応じて就労準備支援事業、家計改善支援事業にて対応</li> <li>・ 遺品整理などを専門業者に頼めない場合に、障がい者就労支援事業者が福祉目的で合法的に有償での整理ができるようにするための条例を常総市で作るよう働きかける。</li> </ul> |
| <b>協力組織</b>            | 常総市役所、パルシステム支え合い基金、インクルベース、地域の福祉関係者、など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>会員の皆さんへ</b>         | 保育に始まり、学習支援、食の支援、移動の支援、住まいの支援、家の片づけの支援、と生活全般にわたる支援を行政や連携団体とともにつくっていきます。国が進める重層的相談支援体制づくりを茨城出も広めましょう。                                                                                                                                                                                                                                                          |

|             |                                                                                                                                                                                            |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>部門名</b>  | セーフティーネットのインキュベーション部門（外国にルーツのある居住者が、文化的で人間らしい生活を送っていくための環境づくり）                                                                                                                             |
| <b>活動方針</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国ルーツの子どもが、成人するまで適切な教育を受けることのできる環境づくり</li> <li>・ 外国人住民が、適切な社会保障を受けることができるための環境づくり</li> <li>・ 外国人住民が、地域の一員として参加し、支え合って生活していくことのできる環境づくり</li> </ul> |

|                        |                                                                                                                                                                                                                      |            |                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------|
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 一部新規                                                                                                                                                                                                                 | <b>事業名</b> | 外国人コミュニティに閉じ込められている子どもたちの地域での支援の場づくり |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | 15 歳を過ぎて来日すると日本の中学校には入れず、高校受検で困難を抱えている外国ルーツの青年が増えています。タリバンのような思想の影響で中学校から教育の機会が奪われ家におかれている少女もいます。このような学びたくても学べない子への支援が必要です。                                                                                          |            |                                      |
| <b>対象</b>              | 学びたくても学ぶ機会が得られない外国ルーツの子ども、青年                                                                                                                                                                                         |            |                                      |
| <b>協力組織</b>            | 三菱財団、中央共同募金会、常総市教育委員会、夜間中学校など                                                                                                                                                                                        |            |                                      |
| <b>事業内容</b>            | 16 歳以上で来日し公立中学校に編入できないなど、自力で高校進学が難しいオーバーエイジの外国ルーツの子に対し必要な進学支援や言葉や教科に関する学習の場をつくりまします。思想的な理由で教育機会を奪われているアフガニスタン、パキスタンの女子が自らを解放し夢をもち学んでいける場をつくりまします。<br>常総市教育委員会が新たにに取り組む外国籍家庭訪問事業と連携し不就園就学状態にいる学齢時の発見と就園就学に向けた支援を行います。 |            |                                      |
| <b>会員の皆さんへ</b>         | 常総には夜間中学校ができ 8 割は外国籍の生徒です。しかし入学できる枠は小さく通えない人もいます。県内各地に日本で生活するのに必要な言葉や高校にはいるための学習支援が得られる場を増やす必要があります。常総ではそのモデルになるような多文化フリースクールをつくりまします。オンラインも含めて学習支援に関わっていただける方を募ります。                                                 |            |                                      |

|                        |                                                                                                                                   |            |                                 |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------|
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 継続                                                                                                                                | <b>事業名</b> | 家なき人と共に暮らし未来を耕すための多文化共同住宅と農園の開設 |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | 生活保護も受けられない困窮者や在留資格がなく就労も認められない外国人住民、独居生活が困難な高齢者や障がい者は公的制度の狭間にいます。必要な福祉が受けられず、路上や病院や刑務所以外に行先がないという課題に対して制度外の居住福祉サービスを新たに実践していきます。 |            |                                 |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>対象</b>      | 生活困窮者、サポートを必要とする独居の人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>協力組織</b>    | 赤い羽根福祉基金、県内福祉機関、市町村、児相、保健所、保健センター、地域包括支援センター、保育所、養護施設、高齢者施設など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>事業内容</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み込みで働ける場、アパート契約が困難な人でも入居できる「ぽかぽかホーム」の運営。</li> <li>・ 生活の場と農園をつくり、共同生活と日中の就労準備の場を軌道にのせる。</li> <li>・ 食や農業を学べる場と作業プログラムをつくる。</li> <li>・ えんがわハウスやカフェと連動させが昼も夜も誰かと共に過ごせる状況をつくる。</li> <li>・ ウクライナから避難された方が常総に来られた際に住まいや定住に関する支援を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>会員の皆さんへ</b> | <p>本事業は、生活保護も受けられない困窮者や在留資格がない外国人住民、独居生活が困難な高齢者や障がい者が必要な福祉が受けられず、路上や病院や刑務所以外に行先がないという課題に対し、空き家を改修したグループハウスで住まいをつくり、農や食で仕事をつくり、共に地域で暮らす実践を通じて空き家の福祉転用と居住福祉の具体的なモデルをつくり発信します。入居者の話相手、余暇を共に過ごしたり農作業や調理などを手伝っていただける方はぜひ常総にお越し下さい。牛久の入管施設に長期収容されていた方をシェアハウスで受け入れ、改めて日本の入管制度の問題（難民とされるべき人が認定されず、国に帰れない人が在留資格が切れると施設に強制的に収容されたり、仮放免で施設を出されても無権利状態におかれている）に直面しています。国は一度廃案になった入管法改正案を再度国会に提案すると思われますが今の政府の改正案は実質制度の改悪であり、運動によって真の改善につなげ必要があります。ぜひ入管制度や入管施設について関心をもってください。外国からきて困っている人を助ける国にしていきたいと思います。</p> |

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                          |            |                |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------|
| <b>新規／拡充／継続</b>        | 継続                                                                                                                                                                                                                                                       | <b>事業名</b> | 在住外国人への定住化支援事業 |
| <b>取り組む地域の課題や社会的背景</b> | 常総市では水害後外国籍住民の持ち家比率が高まるなど定住化が進んでいますが、ゴミだしのルールの普及、地域防災への参加、税や、社会保険など各種制度の理解、市政への参画などが課題になっています。                                                                                                                                                           |            |                |
| <b>対象</b>              | 外国籍住人（ピアサポーター） 福祉関係者 市役所関係者 外国籍住民雇用企業                                                                                                                                                                                                                    |            |                |
| <b>協力組織</b>            | 茨城県提案型共助社会づくり支援事業助成金、外国人 雇用企業、入管、自治体など                                                                                                                                                                                                                   |            |                |
| <b>事業内容</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアサポーター養成講座の実施とサポーターのチームづくり</li> <li>・ 外国人雇用事業所などと連携した生活ガイダンスの実施</li> <li>・ ピアサポーターによる、日本で生活していくうえで重要なテーマを扱った動画配信</li> <li>・ 外国籍住民が参画する地域防災訓練の実施、多言語の防災資料作成</li> <li>・ 県内外国籍住民当事者組織リストの作成と多言語支援情報の共有</li> </ul> |            |                |



|         |                                                                                                                                             |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナワクチン接種推進支援策の情報提供</li> <li>・ 多文化ソーシャルワークケース事例検討会の開催</li> </ul>                                   |
| 会員の皆さんへ | 最終的には、ピアサポーターが集まって常総版の外国人当事者組織の設立が目標です。コモンズが作成している多文化関連冊子、動画などを多くの方に知ってもらう活動に協力して下さい。外国籍の方を雇っている企業、外国籍の方が集っている店舗、教会やモスクなどの情報を提供いただけると助かります。 |

|                 |                                                                                                                                                                                                        |              |                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------|
| 事業名             | 県立高校への外国籍生徒受け入れ支援<br>コーディネーター派遣                                                                                                                                                                        | 新規／拡<br>充／継続 | 新規                             |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | 外国ルーツの高校生が円滑な高校生活を送り、中退を防ぎ、キャリアを拓くため、支援が必要である。                                                                                                                                                         | 対象           | 県内の2つの外国人生徒重点受入れ高校とそこに通う生徒、保護者 |
| 事業内容            | 県立石下紫峰高校と結城第一高校へのコーディネーターと多言語通訳の派遣を通じた県内初のモデル重点受入れ校での体制づくりへの支援                                                                                                                                         |              |                                |
| 会員の皆さんへ         | 6年近く県高校教育課に重点受入れ校の設置や入試での外国籍生徒への配慮を求めてきましたがそれが漸く具体化しました。二つの高校には20名以上の外国籍生徒が入学できましたが、いかに卒業に必要な学びができる環境をつくれるか、進路を開拓できるかが課題です。日本語にハンディがある生徒が高校の授業について行くのはとても大変です。学習サポートに協力いただける方、職場体験や見学に協力いただける方などを求めます。 |              |                                |

|                 |                                                                                                                                                                                  |              |                                        |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------------------------|
| 事業名             | グローバル・サポート事業                                                                                                                                                                     | 新規／拡<br>充／継続 | 継続                                     |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | 県内の公立学校における外国ルーツの児童生徒の受け入れ体制の不足                                                                                                                                                  | 対象           | 公立小中高 特別支援学校                           |
| 協力組織            | 茨城県教育委員会（委託元）、大学等                                                                                                                                                                | 事業内容         | 県内公立学校や教育委員会への通訳・翻訳サポート、日本語指導者の派遣、相談対応 |
| 会員の皆さんへ         | 当事業は今年で4年目となり、県内各地から新規の相談が随時来ています。日本語指導ボランティアの派遣や通訳翻訳サポートだけではなく、外国人児童生徒に関する様々な相談対応も行っています。コモンズのネットワークを駆使して、一件ずつ丁寧に対応しながら事例を蓄積して具体的な課題を浮き彫りにし、茨城県における外国人児童生徒に関する包括的な支援体制の強化に努めます。 |              |                                        |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門名             | セーフティネットのインキュベーション部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 事業名             | グッジョブセンターみと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 活動方針            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グッジョブセンターみとは、ひきこもり、不登校や生きにくさを感じている方などを総合的に支援するところです。</li> <li>・ いじめから不登校に、パワハラ・モラハラで職場に行けなくなった、何かみんなとなじめない、気が付いたらひきこもりがちになっていたなど、困難さを抱えている方の社会参加を目指しています。何をしたらいいかわからない方、一歩踏み出すことを一緒に考えるところです。</li> <li>・ グッジョブは「居場所・たまり場」だけでなく、希望すれば就労体験もできます。就労体験をすることにより、就労につながります。</li> <li>・ 発達障害、生きにくさを感じている方の支援のための SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）手法によるグループ訓練に加え、今年度は支援者を対象に連続講座などの実施を目指します。</li> <li>・ ひきこもりがちながいる家族の会、生きにくさを感じている女子会、ひきこもり、不登校、生きにくさを感じている人の社会参加を目指し昨年運営を始めた「グッジョブおしゃべり食堂」を軌道にのせます。</li> <li>・ アパートの入居や更新の時に必要になる「緊急連絡先」がなくて、賃貸契約ができない人のための「緊急連絡サービス」の周知に努めます。</li> </ul> |
| 新規／拡充／継続        | 拡充                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | <p>仕事のブランクや経験不足などによる不安から、すぐに働くことが困難と思っているニートやひきこもりがちなが若者が、地域の中に多数いると思われます。ニートやひきこもりは本人や家族の問題と捉えられるなど、十分な支援制度があるようには思えません。コモンズでは「ひきこもりは家族の問題ではない、社会の未熟さが原因」と考え、「地域で地域の人の手によるひきこもり支援」を提案しておりますが、引き続きその広がりを目指します。そのためには、県事業の「ひきこもり者の居場所づくり普及事業」を受託し、その研修の中で「地域の力」を訴えたいと思います。また、ひきこもり支援には、当事者支援だけではなく当事者を支える方々の支援、例えば、ひきこもり親の会や生きにくさを感じている方の女子会や SST、パステル、おしゃべり食堂など、関連して必要として思われる事業を丁寧に運営していきます。</p>                                                                                                                                                                                                                  |
| 対象              | ニートやひきこもりがちなが方、生きにくさを感じている方、生活困窮者、障がいを持つ方、居場所がない方など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事業内容            | ① 居場所の運営：大工町事務所の共用スペースにおいて、毎週水曜日 9:00～17:00 に開設します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | ② 就労体験：引き続き、印刷作業と荷積み作業（いばらきコープ）、清掃業務（東海村社会福祉協議会）を、ジョブトレーナーと訓練生が一緒になって就労体験を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 協力組織    | 就労体験を受け入れていただく企業・団体、県及び関係市町村                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会員の皆さんへ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひきこもり支援「グッジョブセンターみと」を、必要と思われる方に声をかけてください。また、就労体験した方の就労先として受け入れてくださる事業所がありましたら、ご紹介ください。</li> <li>・ ひきこもっていたり、ニートの方など、仕事のブランクや経験不足などによる不安を抱えている方が、ハローワークなどを介しての就職活動はかなりハードルが高いと言われています。会員の皆様の近所付き合いなどで、地元の事業所に口コミで就職させてくれる事業主おりましたらぜひお声かけください。グッジョブから、ハローワークを介さず、数名の方が就職をしています。真面目さが評価され、最初は週1日勤務からはじまり、現在はフルタイムになり社会保険に加入した人もいます。</li> </ul> |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門名             | セーフティネットのインキュベーション部門                                                                                                                                                                                                                                              |
| 事業名             | 茨城県就労準備支援事業及び家計改善支援事業等                                                                                                                                                                                                                                            |
| 活動方針            | 生活困窮者（就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方）のもつ多様で複合的な課題を地域若者サポートステーションで培ったノウハウを活かしながら解きほぐし、公民を問わずさまざまな支援機関と連携しながら解決していきます。本人の自己選択、自己決定を基本にしつつ、社会に押し出す、引っ張り出すのではなく、足場を一步一步踏み固めながら、その人のペースで進むことに寄り添い、その人が自分らしく自立した生活がおくれることを目指します。 |
| 新規／拡充／継続        | 拡充・継続                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | <p>【生活困窮者支援を通じた地域づくり】</p> <p>これまで制度の狭間で必要な支援が受けられず孤立状態にあった方の掘り起こしを重視すべく、「待ちの姿勢」ではなく、早期に生活困窮者を発見し、課題がより深刻化する前に問題解決を図れるよう自立相談支援機関や行政と連携しながら、支援対象者が地域の中で安心して自立した生活をおくることができるよう、本事業の支援を通して地域において支え合いの輪を広げていきます。</p>                                                   |
| 対象              | 生活困窮者（就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経                                                                                                                                                                                                                          |



|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方)、生活保護受給者</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業内容    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「就労準備支援事業」では、就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの支援を、計画的かつ一貫して実施します。具体的には、適切な生活習慣形成のための支援・訓練（日常生活自立訓練）、就労の前段階として必要な社会的能力の習得（社会生活自立訓練）、事業所等での就労体験受け入れ先の確保及び就労体験の実施、一般雇用への就職活動に向けた技法や知識の習得等の支援（就労自立訓練）を実施します。</li> <li>・「家計改善支援事業」では、家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える相談者からの相談に応じ、相談者自身が置かれている家計状況を理解できるように、家計計画表等を作成し家計の「見える化」を図ります。また、「家計再生プラン」等を作成し支援の方向性を提案し、生活の再生に向けて意欲を高めていき、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言等を行い、相談者の家計管理の力を高めていく支援を行います。</li> <li>・「アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業」では生活困窮者自立支援制度における自立相談支援機関と連携し、アウトリーチ等の充実、時間外対応やオンライン対応による相談へのアクセス向上等の実施により、社会参加に向けたより丁寧な支援を行います。</li> </ul> <p>「就労体験・就労訓練先の開拓・マッチング事業」では、就労に向け一定の準備が必要な、長期間就労していない方（ひきこもり状態にある方等）や、不安定就労を繰り返している方（以下「就労支援準備支援対象者」という。）の状態像に合わせ、就労体験・就労訓練先の丁寧な開拓・マッチングを推進することを目指します。</p> |
| 協力組織    | <p>自立相談支援機関及び行政、社会福祉協議会等の民間団体など</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 会員の皆さんへ | <p>本事業では複合的な課題、制度の狭間、自ら支援を求めることが難しい人を支援につなげ、「支えられる側」が「支える側」にもなり、様々な地域資源とつながり循環し地域づくりにつなげていくプロセスが必要となります。例えば、「入口」からの地域づくりとして、自ら自立相談支援機関に相談できない人も含め、必要とする人に対する支援を届けるため、地域の関係機関が個別訪問して、その潜在的支援ニーズを把握し、把握したニーズを自立相談支援機関に結びつけるプロセスや、「出口」の地域づくりとして、商店街や企業との連携、農業等の人材不足など広域的な地域課題に対してもアプローチが必要です。地域共生社会の実現に向け、今後ともご支援・ご協力をお願い致します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門名             | ネットワーク化部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                      |
| 活動方針            | コロナ禍が長期化する中、生活困窮の市民などを支える地域のセーフティネットの担い手同士をつなぎ、持続可能な地域づくりにつなげます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                      |
| 主な事業名           | 子ども食堂サポートセンターいばらき                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | NPO マナビヤ                                                                                                                                                                             |
| 新規／拡充／継続        | 拡充                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 継続                                                                                                                                                                                   |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍が長期化し、子どもの貧困も含め、子どもを取り巻く課題が深刻となっています。</li> <li>・ 子ども食堂など食を通じた子どもなどの地域の居場所づくりの活動も 122 まで増加しました。(2 月 18 日現在) 活動内容も、さらに多様化しています。</li> <li>・ フードパントリーが県内 20 か所以上で実施されるなど、子どもがいる世帯などへの食料支援活動が拡充しています。</li> <li>・ 新設団体も多く、また団体間での組織基盤の格差も目立ちます。資金調達や会計などの運営サポートも必要です。</li> <li>・ 団体数の地域偏在も目立ちます。水戸市のように 14 も子ども食堂がある自治体もある一方で、空白自治体も 12 あります。</li> <li>・ 食品寄贈など、子ども食堂への支援を希望する市民や組織も多くあります。昨年度は約 270 件の食品寄贈を仲介しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍の長期化で、新たに生活困窮となった市民も含め、対応する地域の各福祉的相談機関が官民連携する必要があります。</li> <li>・ 2020 年度に作成した『リンク～茨城のセーフティネットづくりに関わる団体ブックレット～』の活用を促す必要があります。</li> </ul> |
| 対象              | 子ども食堂など子どもの居場所、子ども食堂などを支えたい、または始めたい市民や団体など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 子ども食堂など県内各地域のセーフティネットの担い手                                                                                                                                                            |
| 事業内容            | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子ども食堂応援事業運営会議を継続開催し、各地の子ども食堂リーダー同士がつながり、協議する機会を設けます。</li> <li>② コロナ禍での子ども食堂の実態調査を実施します。また子ども食堂のヒアリングと訪問レポートの発信を毎月 1～2 件実施します。</li> <li>③ 特設サイトを通じて、子ども食堂などの設立、運営、支援に関する情報を継続的に発信します。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リンクに掲載した団体などによる事例、ノウハウ、アイデア、経験などを共有する交流会を継続的に開催し、セーフティネットの担い手同士がつながることができる機会を継続的に設けます。</li> </ul>                                           |

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>④ 専用電話回線を設け、子ども食堂に関する総合相談窓口を継続運営します。</p> <p>⑤ 子ども食堂スタートセミナーを複数箇所で開催します。オンライン参加も可能とします。</p> <p>⑥ 子ども食堂運営セミナーを実施し、組織基盤の強化と、食品衛生環境の向上など安心・安全な居場所づくりにつなげます。</p> <p>⑦ 全県の子ども食堂関係者が集う大会を開催し、相互に支え合う関係性づくりにつなげます。</p> <p>⑧ 企業や農業関係者などに子ども食堂などに対する食品寄贈依頼を行い、寄贈調整を実施します。</p> <p>⑨ いばらき子ども食堂応援募金への寄付募集を継続的に実施し、3 団体以上助成します。(コモンズ独自事業)</p> <p>⑩ 企業などで培った専門的な能力や経験を活かしたボランティアの、子ども食堂版プロボノ・マッチングを進めます。</p> | <p>・「子ども食堂セミナー」を継続開催し、特徴ある子ども食堂の経験と事例を広めます。編集動画を公開し、セミナーに参加できなかった市民も学ぶことができる環境を整えます。</p> |
| 協力組織    | 県内各地の子ども食堂、社会福祉協議会、企業、JA、生産者、フードバンク茨城など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | リンク掲載団体、社会福祉協議会、生活困窮者自立支援制度の相談対応窓口など                                                     |
| 会員の皆さんへ | 同事業を 3 年実施し、多くの実績とノウハウが生まれました。受託事業収益も 100 万円以上増強されました。県内には数多くの子ども食堂があり、それぞれユニークな取り組みを行っています。食を通じた地域の居場所づくり、支援活動にご参画ください。食品、ボランティア、寄付の仲介も行います。                                                                                                                                                                                                                                                    | 県内外の子ども食堂など、様々な福祉的機関が集う機会を多く設けます。どなたでも参加も可能ですので、積極的に参加し、自らの活動に活かしたり、これらの支援団体の活動を支えてください。 |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門名             | 担い手の育成事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                       |
| 活動方針            | 会計サポートなどを通じて、セーフティネットづくりに取り組む担い手の組織基盤強化と信頼性向上につなげます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                       |
| 主な事業名           | 市民活動の総合相談事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 会計サポート事業                                                                                                                                                                                                                              |
| 新規／拡充／継続        | 拡充                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 継続                                                                                                                                                                                                                                    |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍が長期化し、活動が停滞する組織もある一方、新たな地域の担い手も生まれるなど、組織運営状況の多様化が進んでいます。</li> <li>・ 市民活動団体の相談対応ができる県内の市民活動支援組織の層は残念ながら十分とは言えず、相談依頼がコモンズに集中しがちです。</li> <li>・ 昨季途上から、チャレンジいばらき県民運動及びつくば市から市民活動団体の相談対応事業を新規受託することができました。過去 20 年以上のコモンズの歴史の中で、相談事業の業務受託は初めてと言っていい状況です。</li> </ul>                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO の会計力を向上させ、運営の透明性、市民の信頼を高めるには、実際に帳簿などを見ながら個別の伴走サポートを拡充する必要があります。</li> <li>・ 市民活動の成果の発信、評価が問われている中、社会から期待されるアカウンタビリティのレベルに十分達しているとは言い難い状況です。</li> </ul>                                    |
| 対象              | 全県の市民活動団体（法人格の有無や種別を問わない）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 会計事務などに苦勞する NPO                                                                                                                                                                                                                       |
| 事業内容            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政財源を活動原資とし、予約制の無料相談対応を実施します。不採算になりがちだった相談事業ですが、相談者は無料相談が可能となり、コモンズが得られる収益も改善されました。</li> <li>・ 過去 20 年以上に渡る相談対応実績を活かし、定款や活動計画の作成、寄付募集や助成金申請など資金調達の助言のほか、組織づくり、ボランティア募集、活動場所の確保、会計処理の方法、広報、他の組織との連携、非営利法人化に向けた準備などに関する助言や情報提供などを行います。また、他の先進事例の紹介も行い、地域の担い手同士の連携も促進します。</li> <li>・ 無料相談が可能なのは月数回に限られます。タイミングが合わない相談ニーズに対しては、これまでどおり独自の有料相談を行います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市民活動の会計セミナー」を複数個所で開催し、NPO 法人会計基準の普及を図ります。</li> <li>・ 新たな会計サポートのニーズを掘り起こします。</li> <li>・ NPO 法人会計基準に準拠したソリマチの会計ソフト「会計王」の代行販売及び入力サポートを継続します。</li> <li>・ NPO 会計サポーターなど相談対応者の育成に努めます。</li> </ul> |
| 協力組織            | チャレンジいばらき県民運動、つくば市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 県内市町村の市民活動支援センター、NPO の所轄庁業務権限移譲を受けている自治体担当職員                                                                                                                                                                                          |
| 会員の皆さんへ         | 広報が十分行き届いていなかったためか、昨年度は相談枠が全て埋まらないこともありました。せっかく行政財源により無料相談が可能となりましたので、ぜひお気軽に市民活動のよろず相談の機会をご活用ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 会計は組織の要です。会計事務を円滑に実施し、多くの市民から信頼され、寄付や会費などの応援が受けられるようにしましょう。コモンズもできる限りサポートします。                                                                                                                                                         |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門名             | 活動資源の仲介事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 活動方針            | セーフティネットの維持・拡充を目的とした寄付募集及び助成事業を実施することで、コロナ禍で地域のセーフティネットを支える NPO の存在の可視化と、寄付を通じた市民参加につなげます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事業名             | 誰かのために募金 ～コロナ禍で生活困難な県民を支える活動を応援～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 花王・ハートポケット倶楽部地域助成～地域の居場所の継続・発信助成～                                                                                                                                                                                                |
| 新規／拡充／継続        | 継続                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 継続                                                                                                                                                                                                                               |
| 取り組む地域の課題や社会的背景 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍が長期化する中、生活困難な市民を支えてきた NPO などによるセーフティネットに対し、これまで以上にその役割が期待されています。</li> <li>・ 地域のために何か行動を起こしたいと、企業も含め、新たな公益的活動も生まれてきています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍が長期化する中、地域の福祉的な居場所は、これまで以上に必要とされています。</li> <li>・ 居場所に来ている人のつながりをオンラインで維持しようとしたり、県外の先進事例とつながる動きもあります。</li> </ul>                                                                     |
| 対 象             | セーフティネットの担い手である NPO                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | コロナ禍でもつながりを絶やさず、地域の居場所を継続して運営する団体                                                                                                                                                                                                |
| 事業内容            | <p>「誰かのために募金」の寄付募集を継続実施し、次なる助成と新たなセーフティネットの担い手の掘り起こしにつなげます。同募金への寄付つき商品の開発・販売も促進します。</p> <p>(これまでの助成対象活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的擁護から巣立った若者への食糧支援</li> <li>・ フードパントリーやテイクアウト形式の子ども食堂</li> <li>・ 外国ルーツの住民も対象とした地域食堂</li> <li>・ 子どもや若者などへの食料支援と無料塾</li> <li>・ 布ナプキンの普及活動</li> <li>・ シニアが中心となったテイクアウト弁当販売</li> <li>・ 在宅高齢者の生活支援に向けた IT サポート</li> <li>・ プレーパーク整備活動</li> <li>・ 生活困窮者の引っ越し支援</li> <li>・ 多子家庭などの子育てサロン運営と支援者養成講座</li> </ul> | <p>2013 年度から、花王・ハートポケット倶楽部の皆様のご寄付を原資に、助成活動を継続することができました。重度障がい児などのケアラーの就労支援、不登校児の居場所やプレーパーク、生活困窮者を対象とした食料支援、ひきこもり者の中間的就労活動、過去に児童虐待を受けた市民同士の交流活動など、過去 3 年は地域の居場所を中心に助成しています。今年度も、地域の福祉的居場所の運営の継続や情報発信を支え、自立的な運営ができるようにサポートします。</p> |
| 協力組織            | いばらき未来基金運営委員所属組織、地域メディアなど                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 花王・ハートポケット倶楽部など                                                                                                                                                                                                                  |
| 会員の皆さんへ         | <p>コロナ禍が長期化する中、生活困窮の課題はより見えづらく、深刻になっています。困難な時代だからこそ、必要な活動があります。また、その行動に注目し、応援してくれる人も必ずいます。自分たちが支えている当事者が抱える課題を発信し、そのための活動を企画・提案してください。コロナ禍を契機に、一緒に茨城に寄付社会を根付かせましょう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                  |